

公立大学法人横浜市立大学 第4期中期目標の策定について

公立大学法人横浜市立大学における中期目標について、現行（第3期）の中期目標期間が令和4年度で終了するため、次期（第4期：令和5年度から10年度まで）の中期目標策定に向け検討を進めていきます。

1 策定スケジュール（予定）

中期目標及び中期計画の策定にあたって、それぞれ案の段階で本委員会において法定の意見聴取を実施させていただきます。

令和4年 5月	法人評価委員会	中期目標・中期計画の検討状況報告（今回）
7月	法人評価委員会	中期目標・中期計画の検討状況報告
8月	法人評価委員会	中期目標・中期計画の素案概要の報告
9月	市会	中期目標（素案）の報告
9～10月		市民意見募集
11月	法人評価委員会	中期目標（案）について法定意見聴取
12月	市会	中期目標（案）を議案として提出
令和5年 2月	法人評価委員会	中期計画（案）について法定意見聴取
3月	市会	中期計画（案）の報告
3月末まで		中期計画 市長認可

2 第4期中期目標策定に向けた検討状況

第4期中期目標の策定にあたっては、コロナ禍に対応する課題を含め、本市や市大を取り巻く社会・経済構造の変化（人口減少・超高齢社会の進行、SDGsの推進、脱炭素化社会の実現、DXやオープンイノベーションの推進等）に伴う課題等を視野に入れた目標とします。

また、第3期期間中の年度実績評価や、昨年度に実施した中期目標の期間終了時に見込まれる業務の実績評価（みなし評価）等を踏まえて検討します。

今後、上記の課題やこれまでの成果等について、改めて市大と共有し、9月の中期目標素案の作成に向け、法人評価委員会のご意見を伺いながら検討を進めていきます。

目標策定に向けた基本的な考え方

今後の横浜市立大学を取り巻く状況を踏まえ、市が有する大学としての意義を念頭におき、市大が自主的・自律的な運営を行い、市民に支えられた大学として横浜に貢献できる大学を目指し、目標を検討します。

想定される主な着眼点

教育に関する内容

- 国際都市横浜にふさわしいグローバルな視点を持ち、社会ニーズを的確にとらえ、課題解決に取り組むことができる将来の横浜を担う人材の育成
- コロナ禍で培ったオンラインと対面授業の有効活用など、教育・研究の質の向上に向けた取組の推進
- 履修しやすい環境整備や、多様なカリキュラム等による社会人の学び直しのニーズへの対応

研究に関する内容

- 外部資金の積極的な獲得による、大学の強みとなる戦略的な研究の推進
- オープンイノベーションの推進、基礎と臨床の橋渡し研究、領域横断的研究による社会課題の解決や、先進的な医療の実現

医療に関する内容

- 横浜市にある公立大学附属病院として、質の高い医療人を育成・輩出することによる地域医療への貢献
- 横浜市の求める政策的医療・高度医療の提供、地域の医療機関との連携の推進

地域貢献に関する内容

- 市内企業等との連携によるイノベーションの創出や、研究成果の社会実装による市民への還元
- 人口減少・超高齢社会の進行、SDGsの推進、脱炭素化社会の実現、DXやオープンイノベーションの推進等、社会・経済構造の変化をとらえた政策提言

国際化に関する内容

- オンラインの活用等による多様な国際交流の機会の拡大
- 就職促進プログラムの充実等、「留学生に選ばれる大学」に向けた取組の推進

施設整備に関する内容

- 医学部・附属2病院等の再整備に向けた検討の着実な推進
- 将来を見据えた計画的な施設の修繕や、教育環境の機能向上

法人経営に関する内容

- コンプライアンス体制の強化や継続的なリスクマネジメントの取組
- 将来にわたる自律した財政運営に向けた経営改善の取組の継続と、強い経営体質の構築